

高校の商業教育を支援する高大連携研究協議会が設立

現在、商業高等学校においては、大学進学率が恒常的に50%を超える状況にあります。大学進学率がますます高まる現状において、指定校の推薦だけでなく、一般受験を選択する生徒が増加しており、商業高等学校側でも生徒・保護者の要望により商業の代替教科の対応に応えなければなりません。必然的に純然たる商業の履修が減り、これまで行ってきた商業教育の方法の変更や教育課程上の工夫が必要となってきています。現実には、商業高等学校で履修・修得する教科・科目中の1/3を占めている商業科目の単位数を大幅に減じるという苦渋の選択をして対応している商業高等学校も出始めています。

こうした問題について高校と大学で協議し、商業高等学校生徒の大学進学への門戸がより広く開かれ、大学側が求める高等学校の商業教育について研究を深め、真の高大連携が図られることを目的に**高大連携研究協議会**が設立されます。設立総会及び、第1回高大連携研究協議会は**12月10日**に**札幌啓北商業高等学校**にて開催されます。札幌大学では約260人の商業高等学校の教員を輩出しており、この高大連携研究協議会を支援していきます。

【高大連携研究協議会】

発起人 代表 和田 敬友（北海道議会議員）
札幌啓北商業高等学校（吉田正紀・坪田一夫・鈴木恵一）
札幌東商業高等学校（力石明彦・石井照之・石川智寛）
高等学校会員 札幌啓北商業高等学校、札幌東商業高等学校
大学会員 北海学園大学、北星学園大学、札幌学院大学、札幌大学

【第1回 高大連携研究協議会】

日時：12月10日（土） 10：00～
会場：札幌啓北商業高等学校 1階会議室
10：00～10：10 受付
10：10～10：30 高大連携研究協議会設立総会
10：40～ 高大連携研究協議会
1. 教育内容の充実（高校の商業教育と大学における高大一貫教育について）
2. 大学入試における商業高校3年間の評価
3. 情報交換
4. 公開授業（大学の普段の講義、大学生の研究活動を商業高校生に公開）
5. 出張講義
6. その他

以上の項目やその他必要な項目を積極的に取り上げ、高大連携の望ましい方向を検討していきます。